

## 在日外国人から2種類の寄生虫卵を同定した1例

◎川井 孝太<sup>1)</sup>、久米 彩也香<sup>1)</sup>、池田 美紀<sup>1)</sup>、上村 のり子<sup>1)</sup>、清水 憲雄<sup>1)</sup>  
磐田市立総合病院<sup>1)</sup>

### 【はじめに】

近年、海外渡航、日本の国際化、在日外国人の増加、食生活の変貌などによる寄生虫感染症が注目され始めている。磐田市でも在日外国人が多い印象がある。今回、当院でフィリピン国籍の患者から寄生虫卵が2種類同定された症例を経験したので報告する。

### 【症例】

33歳男性。結核の接触者感染にてT-SPOT陽性、潜在性結核感染症と診断された。当院にて、結核性胸膜炎と診断された男性患者と職場および寮が同じだった。治療開始1週間後、末梢好酸球数が治療開始前より軽度上昇し始めた。好酸球上昇の原因検索の為、アレルギー検査や寄生虫卵検査が依頼された。

### 【受診時結果】

〈WBC〉5400/ $\mu$ L 〈Hb〉13.3g/dL 〈PLT〉 $23.6 \times 10^4$ / $\mu$ L 〈Auto-diff〉 Ba:1.1%。Eo:17.8%。Seg:48.5%。Ly:26.7%。Mo:5.9%。

〈TP〉7.8g/dl 〈AST〉38U/l 〈ALT〉51U/l

〈LD〉232U/l 〈CPK〉365U/l 〈UA〉7.3mg/dl

### 【1W後】

〈WBC〉8400/ $\mu$ L 〈Hb〉14.6g/dL 〈PLT〉 $24.4 \times 10^4$ / $\mu$ L 〈Auto-diff〉 Ba:0.7%。Eo:23.1%。Seg:43.5%。Ly:23.8%。Mo:8.9%。

〈TP〉7.9g/dL 〈AST〉34U/l 〈ALT〉43U/l

〈LD〉243U/l 〈CPK〉319U/l 〈UA〉7.8mg/dl 〈IgE〉2417IU/ml 〈特異的IgE検査〉コナヒョウヒダニ、ヤケヒョウヒダニ、回虫、アニサキスが陽性。〈寄生虫卵検査〉陽性(鉤虫卵、鞭虫卵を検出)

### 【経過】

寄生虫卵再検査が提出され再度陽性と報告。ピランテルパモ酸塩の投与後、メベンダゾー

ル投与して、駆虫していく方針になった。

10ヶ月にわたる治療後、寄生虫卵検査陰性となり、母国へ帰国するため終診となった。

### 【考察】

今回、在日外国人から鉤虫卵、鞭虫卵の2種類を検出した。近年、日常業務中に寄生虫卵の陽性に遭遇する機会が少なくなり、研修会などでしか見る機会が無い状況にある。

今回の、症例においても寄生虫卵を見慣れておらず判断に苦慮した背景がある。食生活などもうまく追うことができなかった。鞭虫卵は特徴的な形態を示しており分かりやすかったが、鉤虫卵の判定が難しかった。磐田市では、全人口における在日外国人が占める割合は約5%である。今後も、外国人をはじめ日本人でも寄生虫卵検査陽性に遭遇する可能性は大いにある。研修会参加者から情報のフィードバックをし、一般検査室で共有する必要性を感じた。研修会情報などを積極的に集め、一般検査室内で情報共有してスキルアップに繋げていきたい。県技師会でも定期的に寄生虫卵研修会の開催が望まれる。

連絡先:0538-38-5000 (内線:2703)